

副議長が 決まりました

平成24年旭市議会第1回
定例会開会日の2月29日、
副議長の選挙が行われ、林
七巳議員が選ばれました。



市議会副議長
林七巳さん(三川)

3 5 ポスターに込める防火への思い



左から飯島楓さん(豊畑小・4年)、越
川紗弥さん(三川小・5年)、小関妃奈
さん(飯岡中・1年) ※石田七海さん
(飯岡中・2年)欠席

防火を呼び掛けよう
と、市内の小中学校から
募集した防火ポスターの
表彰式が、市役所で行
われました。

今年の応募作品は
194点。市の公民館な
どで展示され、市民の
防火意識の向上に役立
てられました。

3 8 24時間テレビから車両寄贈



大きくデザインされた車両

日本テレビの「24時
間テレビ」チャリティ
委員会から、東日本大
震災被災地復興支援の
一環として、旭市に
10人乗りの車両が寄
贈されました。今後、
未永く大切に使用して
いきます。

3 17 旭の魅力がベストショットで



山中さんとグランプリ作品「晩秋の東栄寺」
山中巨さん(銚子市)は「ここはカーナビで偶然見つけた場
所で、撮影は1度きり。風景写真は運もありますね」と話
しました。

3回目を迎えた市の
魅力を紹介する旭の風
景写真コンテスト。そ
の表彰式が東総文化会
館で行われ、総数184
点の中から優秀作品
25点が表彰されまし
た。グランプリ受賞の

ANAグループ航空教室

夢を持って羽ばたいて



キャビンアテンダントに付き添われ、乗客役の子に笑顔でジュース
を手渡す児童

子どもたちが航空会社の仕事を体験することで、仕事
の楽しさや素晴らしさ、チームワークの大切さなど
を学んでもらおうと2月22日、海上公民館で航空教室が開
催されました。

三川小、矢指小、富浦小の2年生90人は、機内に見立
てた部屋の中で、機内のドリンクサービス体験やマーシャ
ラーと呼ばれる飛行機誘導体験をしました。キャビンアテ
ンダントの服を着せてもらい、機内サービスを体験した女
の子は「たくさんの人にジュースを渡すのが楽しかった」と
うれしそうに話しました。

味噌自慢・もつ自慢でまちおこし!!

絶品のみそ・もつ料理で旭を活性化



絶品料理の数々をたくさんの人が取り囲む

手造りみそや旭市産の豚もつをPRするイベントが2
月18日、市内で開かれました。会場には出店者自慢
の料理や品がずらり。定番のみそ田楽やもつ煮込みはもち
ろん、みそキャラメルやもつシチューといった趣向を凝ら
した料理に、訪れた約1,200人が舌鼓を打ちました。

また俳優の永島敏行さんとフードスタイリストの飯島奈
美さんによるトークショーも行われ、永島さんの「都内発
で、もつ料理や農水産物を堪能できるバスを走らせたらど
うか」という提案に、拍手が湧き起こっていました。

「天国から見守って」あの日から1年



一人一人が花を手向け犠牲者の冥福を祈った



あさひ少年少女合唱団による献歌

東 日本大震災から1年となった3月11日、い
いおかユートピアセンターで、遺族をはじめ
とする関係者など約500人が参列し、合同追悼式が
行われました。

厳粛な雰囲気の中で始まった式は、地震発生時刻
の午後2時46分に合わせ全員が黙とう。遺族代表
から「この悲しみは一生忘れることはない、地域の
人たちの優しさを糧にあなたの人生も抱えながら生
きていきます。天国から私たちのことを見守ってく
ださい」と、別れの言葉が述べられました。

旭・学び助成金(旭3S)活動報告会

活動を通して成長した児童・生徒たち

市 内の小中高校生の、社会的貢献を意図した活動に助
成金を提供し、子どもの学びを支援する旭3S。そ
の活動報告会が3月10日、東総文化会館で開催されまし
た。報告をした中央小、干潟小、旭二中、海上中の児童・
生徒たちは、復興コンサートや環境美化、交通安全など、
それぞれの活動を発表。報告後の質疑応答で、活動の前後
で成長を感じる点は？ と問かれた児童は「たくさんの人
からの助けがあり、協力することの大切さ、人との接し方
を学びました」と答えていました。



交通安全の活動報告をした干潟小の児童たち